

第1回米沢市総合計画審議会 会議録

1 日 時 平成26年6月5日(木) 14:00~15:50

2 場 所 伝国の杜大会議室

3 出席委員

安部美和子委員、泉多恵子委員、遠藤秀平委員、大和田浩子委員、尾形健明委員、奥村あい子委員、佐藤大喜委員、佐藤晃代委員、柴田正孝委員、島津眞一委員、白石祥和委員、鈴木清治委員、清野雅好委員、我妻仁委員 以上14名

(小野浩幸委員、小野寺忠司委員、黒田三佳委員、白井裕久委員、中嶋朱実委員、林宗太郎委員は欠席)

事務局

市長、副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、水道部長、市病事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、監査委員事務局長

(選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長は欠席)

総合政策課 課長、課長補佐、総合計画策定室長、企画調整主査、担当

4 会議録

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 市長あいさつ

本日はお忙しい中御出席を賜りまして誠にありがとうございます。そして、委員をお引き受けいただき厚く御礼を申し上げます。現在のまちづくり総合計画は「豊かさやすらぎ 共に創りあげる ときめきの米沢」をテーマに進めてまいりました。この10年の間、「天地人」の放送が市制施行120周年の節目の年にあって、経済的な豊かさだけでなく精神的なやすらぎも市民の皆様の共通理解になったと思います。また、平成23年3月11日の東日本大震災発生後、私たちは「愛と義」の精神を發揮した「まち」であったと思います。全体的には現在のまちづくり総合計画は概ね順調に進んできたのではないかと捉えております。

前回の総合計画策定時に93,000人だった人口は現在87,000人程まで減少しております。日本全体の人口が減っていることもありますが、全体が減少しても米沢市だけはそうならないという輝かしい実績が残ればよかったです。現実には減少し、大変厳しいものだと思っております。一方でこの厳しい現実を踏まえつつ、もう一方では「愛と義のまち」という精神的な豊かさは着々と浸透してきた実績もありますので、本当に市民一人一人が住んで良かったと思えるまちになっていける計画を作ることが何よりも大事だと思っております。

市民の方々の意見がたくさん寄せられ、それが反映されるような計画にしていきたいと思っておりますので、皆様方の十分な御審議を賜りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(4) 委員自己紹介及び事務局等紹介

(各委員自己紹介)

(5) 会長選出

事務局 会長の選出を行いたいと存じます。審議会条例第4条第1項には、委員の互選によって会長を定めるとありますが、顔を合わせるのが初めての方もいらっしゃると思いますので、事務局から案を提案させていただいてもよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

事務局 それでは、事務局から提案させていただくことをご了承いただきましたので、米沢市参与、山形大学名誉教授でもあり、様々な審議会等での御経験豊かな尾形健明委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 異議なし。(拍手)

事務局 尾形委員、中央の会長席に御移動くださいますようお願いいたします。

(会長中央の席へ移動)

(6) 会長あいさつ及び会長代理の氏名

事務局 尾形会長からごあいさつをお願いします。なお、審議会条例第4条第3項の規定によりまして、会長代理は会長が指名することとされておりますので、指名についても併せてお願いいたします。

会長 今回この大変な重責を仰せつかりました。40年も米沢にお世話になっておりました、やはりここでお断りするわけにはいきませんので、非常に微力ではありますがお引き受けをさせていただきます。先ほど市長のごあいさつでもありましたように、とにかく「人口減少」を何とかしなければならず、この審議会は人口減少対策というのがテーマになると思っております。5月初めに発表があり、2040年にはほとんどの市町村がなくなってしまうという報道があったのですが、山形市と米沢市だけはちゃんと名前が残っていました。いずれにしましてもすべての自治体がそういう課題を抱えているだろうと思います。今回我々審議会は山形県の模範となるような、ある意味で危機感を持って課題先進地域のような心づもりで10年後を見据えた計画を策定できればと思っております。委員の皆さんにはそれぞれの団体に所属されて肩書をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、やはり米沢市民としての自覚も大事ですので、その立場からの御意見もいただくようよろしくお願いいたします。「産・学・官・民」全員で一緒に立派な計画を策定したいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

先ほど事務局から説明がありましたとおり、規定によりまして会長代理を会長が指名するということですので、私から会長代理を指名させていただきます。商工会議所の専務理事を務めておられます、柴田正孝委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(会長代理席へ移動)

(7) 諮問

(市長から会長へ諮問)

(市長退席)

(8) 議事

事務局 審議会条例第5条第2項の規定により、会長が議長となることとされております。

す。尾形会長に議長をお願いしたと存じますのでよろしくお願いいたします。

会 長 それでは議事に入ります。本日の会議につきましては、午後3時30分頃までに終了したいと考えておりますので、議事の運営につきまして委員の皆さんの御協力をお願いいたします。

① 会議等の公開について

(報道関係者退席)

事務局より資料5頁に基づき説明

- 会議の公開、非公開、部分秘の決定は審議会に委ねられている。特段の事情がない限り公開としていることから、本審議会もこれに準じ公開が原則と考えています。
- 会議録及び配布資料について、会議録は要点筆記とし、会長についてはそのように、その他の委員の方については個人名ではなく委員という表記をさせていただきたいと考えています。
- 会議を公開する場合、会議録及び配布資料についてもホームページ等に掲載して公開することが一般的であるため、広く市民に新総合計画策定の進捗状況等についてお知らせをし、まちづくりに対する関心を高めてもらいたいと考えています。
- 会議又は会議録等を非公開とする必要があると考えられる事案が出た場合は、改めて協議を行うものと考えています。

会 長 この会議は開かれたものにすべきと思いますので、会議を公開することとし、会議録及び配布資料についても公開する取扱いとしてよろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

会 長 それでは、そのように決定します。

(報道関係者入室)

② 新総合計画策定基本方針について

事務局より資料3、4頁、6頁から10頁に基づき説明

- 昨今の情勢が人口減少や少子高齢化、市民の価値観の多様化など変化する中で、市民と行政が目指すべき将来像を共有し市勢発展に結び付けていくため、平成28年度を初年度とする新たな総合計画を策定するものです。
- 計画策定にあたっては基本的な考え方として、「政策重点型の計画」、「成果志向型の計画」、「協働実践型の計画」を目指します。
- 計画の構成は、前回同様「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成します。
- 総合計画審議会の役割、委員の皆様方にご審議いただく方法について説明します。審議会は、本市の総合計画の策定等に関する事項について調査、審議を行う市長の附属機関として設置するものです。
- 本日の審議会が第1回目となるわけですが、来年の1月までに審議会を4回程開催し、基本的には総合計画の目標年度である10年後を見据えて委員の皆様から幅広い視点での御意見を頂戴したいと考えています。
- 審議の前段として人口や財政状況、市民アンケートの結果や現在の総合計画の検証結果等、次回以降御説明したいと考えております。
- 御意見をいただくにあたっては、審議会ごとにある程度テーマを提示させてい

ただきたいと思います。

- 委員の皆様からいただいた御意見を、来年1月を目途に中間意見として取りまとめ、その中間意見を受けまして、市が総合計画の案を作成し、目指している方向性が適正であるか御審議いただいて7月に答申を行っていただくことを想定しています。基本構想及び基本計画は9月の議会に上程する予定です。

会 長 中間意見書の提出が1月中にあるわけですが、例えば意見書のたたき台が事務局から提示されるのですか。

事務局 委員の皆様のお意見をまとめさせていただき、原案を御提示させていただき、それを御覧いただき修正を加えながら最終的な中間意見の形とさせていただきます予定です。

委 員 第7回総合計画審議会では基本構想(案)、基本計画(案)を検討すると思いますが、実施計画については御提示いただけるのでしょうか。

事務局 平成27年7月あたりには最終的な審議会の御意見も踏まえまして、基本構想と基本計画を固めたいと思っております。実施計画につきましては予算に係るものですから、市の内部で作成し、議会に最終的に予算とともに御説明する仕組みとなっております。審議委員の皆様方には郵送等で御報告させていただきます。

委 員 各主管課で総合計画とは別に作っている事業の5箇年経過や10箇年計画があると思いますが、期間にずれがあると思います。その辺りはどのように調整されるのですか。

事務局 今回の新総合計画は米沢市の最上位計画という位置づけをしております。この計画の下に様々な計画がついてくるような形になりますので、必要に応じて、場合によっては総合計画の見直しに伴って市の付随する計画についても見直しを行う必要があると考えております。

委 員 人口減少は長期的に見て大きな課題だと思いますが、そのほかにも課題があると思います。今米沢市として何ができていて何ができていないのかという現状についての各種データの説明など、また、これまでの審議会でも協議されてきた経過等も踏まえて次回お伝えいただけるという理解でよろしいでしょうか。

事務局 人口減少に少しでも歯止めをかける方策、そして人口が減った中で米沢市がどのようなまちづくりをしていったらよいかというところを大きなポイントとして御審議いただきたいと思います。人口についてはアンケートなども取っており、数値的に分析したものもありますので次回御説明させていただきたいと思っております。

会 長 疑問が生じた場合は、事務局のアドレスなどは教えてもらえるのでしょうか。

事務局 メールやファクシミリで皆様のご意見をお聞きする予定です。

③ 市民・中高生アンケートの実施について

事務局より資料12頁から14頁に基づき説明

- 無作為抽出した18歳以上の市民4,000人、高校生に在学している世代の方500人のほか、市内中学三年生全員約800人を対象としたアンケートを実施します。
- 実施期間は6月20日(金)まで発送、回答期間約3週間を設け、7月11日(金)まで返送をお願いする予定です。

- アンケートの回収率を上げる方法として、市の広報・ホームページでの告知とご協力のお願いの掲載、回答期限前の御協力の依頼文書を郵送する予定です。
- 回答いただいたものは、将来構想や重点施策等の検討に活用させていただき、報告書として委員の皆様にご報告する予定としております。

会 長 アンケートの中身は審議会で議論するものですか。

事務局 大きな項目については資料で御説明したとおり設定をさせていただいており、詳細については事務局で最終的に決めさせていただいて、委員の皆様にはアンケートが定まり次第お送りいたします。

会 長 アンケートは取り方によって全く違う様子を示す場合がありますので慎重に運んでいただきたいと思います。

委 員 アンケートの対象者が年齢、性別を考慮した無作為抽出とありますので、平成24年度に実施された満足度調査を見ても50代以上が多くなるのは人口比で当然ですが、4,000名のアンケートについても年齢がほぼ同じ数になるようにやっていたらいいのでしょうか。

事務局 前回も同じ年代で抽出を行っておりますが、回収率が大きく違ってくるという課題があります。前は3,000人で実施しておりますが、回収率が27.87%で、ある程度年齢が高いとアンケートにも多く回答していただけたところがありまして、今回は全員を対象に催促をお送りしたいと考えています。過去の事例でも回収率が上がるということがありますので、そのような工夫で回収率を上げるよう取り組む予定です。

委 員 中学生・高校生世代アンケートの設問で、「結婚したいかどうか」と「結婚した場合何人くらい子供がほしいのか」いわゆる期待出生率を設問に盛り込んでいただけないか。

事務局 検討いたします。

会 長 回収率を上げるためにお礼を入れるなどの予算はあるのか。

事務局 そういった予算は難しいと考えます。

委 員 私の所属する団体にも高齢な方や障がいをお持ちの方、様々な福祉サービスを利用されている方などから問い合わせがあって、いろいろな機関でアンケートを実施する中で、できる限り専門用語を少なくわかりやすい表現でお願いしたいと言われます。あと、無作為抽出ですので、例えば障がいをお持ちの方に自分で記入できない方がいらっしゃった場合、代筆は可能なのでしょうか。

事務局 アンケートの設問はわかりやすい表現を心がけるように作成いたします。代筆につきましては、可能ということをお願いいたします。

委 員 平成24年度に実施したアンケートの結果に関して、改善していった施策というか、行政としてこのアンケートの結果を基に変えていったことがあれば教えてください。具体的に前回満足度が低くて重要度が高いカテゴリーで、変えていった部分があれば事例を挙げていただけませんか。

また、市民がアンケートを書いても、どのくらいそれが伝わっているか分からず、中には書いても意味がないと思う方もいらっしゃるのではないかと思いますので、実際自分が回答したことによって施策に反映されたかどうかを発信してい

くことは重要だと思えます。

事務局 満足度が低く重要度が高い「雇用労働」分野についての施策事例として、有機ELや新しい産業への支援、緊急雇用対策などに取り組んでおります。また、アンケートに御協力いただいた方に結果として御報告するのは必要な視点だと考えます。事務局としては広報などでお知らせする予定ですが、計画全体でも広くお知らせできるよう心がけていきたいと思えます。

④ 次回審議会日程等について

事務局より資料11頁に基づき説明

- 次回は7月下旬で第2回審議会を開催したいと考えております。
- 調整をしまして、委員の皆様にはなるべく早くお知らせしたいと思っております。
- 本日の会議録につきましては、まとめ次第郵送でお送りしたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

⑤ その他

事務局 まちづくりに関しまして、委員の皆さんには各専門分野お持ちだと思えますので、今後事務局の進め方にも参考にさせていただきたいので「今後の将来に対して」という思いを一言ずつ頂戴できればありがたいと思えます。

会長 それでは委員の皆さんよろしく願いしたいと思えます。

委員 人口減少社会に対して、否応なく社会のシステムが変わっていく10年間の計画づくりなのでかなりドラスティックにやらないと、印象的なものにならないかなと思えます。40年で8000万人レベルまで国全体が落ちることですから、米沢も例外じゃなく、特に産業界においては需給の絶対量がかなり落ちますので、ここで方向性を皆さんと知恵を絞って考えていきたいと思っております。

委員 米沢のスポーツをする施設というのがまちまちであるので、みんなが集まって健康づくりができるような施設があってそこで体制づくりができればいいなと思っております。また、13歳の息子を持つ親として、アンケートに息子が当たって答えるのであればと、親として考えてみましたが、結婚は希望すると思うけれど、彼にとって子どもが何人欲しいかよりもどんな職業に就くのかをまず考えるのではないかなと思えます。米沢で生まれ育った息子はすごく米沢のことが好きで、小学校の卒業式で「市外に出ると思うけど、米沢に戻って僕がしてもらった恩返しがしたい。」と言っていたので、これから中高生が魅力あるようなまちづくりを行っていききたいと思えます。

委員 学校に勤めておりましたので、子どもの数が減って統廃合が進もうという話が進んでいるのですが、やはり学校に子どもがいなくて寂しいなというのが本音です。米沢を出てもまた帰ってくるように、米沢の良さを小中高校生に知ってもらいたいと思えます。また、適応指導教室に勤めているのですが、様々な理由で学校へ行かない、行きたくても行けない子どもたちの様子を見ていますと、それぞれ色々な原因が複雑に絡み合っている気がします。そんな子どもたちに対応できるような組織というかセンターができれば良いと思っております。米沢市教育委員会は「がってしない子供」の育成を小中学校にお願いしております。子どもたちを守るとともに、生きていく力を同時に育てていかなければならないと思っております。

います。

委員 これまで学校にいけないニートや引きこもりと呼ばれる若者と長く関わっていく経過の中で、「孤立」と「格差」という言葉を非常に感じています。当法人で川西町を対象とした全戸配布アンケート調査を実施する予定ですので、他の町ではありますが、結果をお知らせできればと思います。私自身米沢が好きで、それだけで今の仕事をしているというのがあるので、ぜひ様々な分野の方からご指導いただきながら、自分自身にとってもこのまちがもっとよくなるようになればいいなと願っております。

委員 私は、米沢は捨てたものじゃないなと思っておりまして、たくさんの長所もあるので、それをさらに伸ばすような方向にもっていくのがいいと思っています。教育のことでは、高校や大学を出た後米沢に帰ってこない若者が多いのが残念でなりませんので、米沢のため故郷のために尽くせる子どもを育てることが緊急のことではないかと思っています。15歳の子どもが10年後には25歳の若者になるわけですので、先を見据えた計画を創ればと思います。

委員 3. 11の東日本大震災後、米沢に現在避難されている方を訪問する職員がおりまして、その職員の話では、米沢はとてもいいまちで住みやすいけれども、ただ一つ働く環境があれば米沢に永住したいとおっしゃっている方が多いようです。子育て環境では、保育施設などは充実しているとは思いますが、冬期の遊び場所がもっと充実していればなという声がありますので、意見を聴きながら反映できればと考えています。

委員 新しい総合計画が10年後を視野に入れていますが、ちょうど2025年問題がこの時期と重なっています。団塊の世代が高齢者になり、高齢化率が30数パーセントになり、人口も減って米沢で結婚適齢期の女性が現在の半分ほどになる。都市が維持できるかという時代が10年後来るわけなので、危機感を持って新計画の議論に臨みたいですし、高齢者や福祉も大事な視点ですが、若者と女性が暮らしやすい、魅力を感じる米沢になってほしいと思います。また、人口を周りから吸収して増やし、流入人口も増やして地域の中核都市になっていくのだという気持ちで計画策定に臨みたいと思います。

委員 私は農業をやっているのですが、米を作っているのですが、農業はこれからとても大事になると思います。食料はとても重要なことだと思いますし、米沢市民として、米沢独自の食べ物を作って知名度を上げていきたいという仲間もおります。米沢市にとってもっと人が呼べる、人が集まる市にしていきたいというのは農業をしている人も同じですので、一生懸命考えて良いものにしていきたいと思えます。

委員 20年前ですと、保育所の入所率が低く定員割れをしていましたが、ここ10年でどんどん高まり、特に0才・1才の低年齢層の率が高くなっています。待機児童を抱える状態ではないのですが、共稼ぎでないと生活できない米沢の状態があると切々と感じます。お母さん世代を巻き込まないと活性化しない経済状況にあるのかなと思う一方、パートや派遣などで勤めているお母さんが産休などの休暇が取れずに職を変えていく現状を見ますと、経済がもっと活性化しないと現実

は厳しいのかなと感じます。子育てするなら山形県をキャッチコピーにしているので、米沢市も子育てしやすい環境、すなわち家庭が潤って気持ちにゆとりができて子どもにも笑顔が向けられるようなまちづくりに参加できればと思っています。

委員 大学で地域貢献のできる管理栄養士を育成していますので、米沢市で少子高齢化が進んでいるということで、特に高齢化対策として、高齢者の方々が健康長寿を全うできるようなまちづくりに貢献したいと考えています。

委員 観光のモデルも変化してきていまして、観光のためにはという考えがあったのですが、実はその必要はなく、私たちが必要なもの、いいものを創ってそこにお客様を住民の一人として呼び込めればまちを楽しむことができると思っています。私たちがいいまち、住みやすいまちを突き詰めていくことで、それを観光のお客様に使っていただけるということを目指していかなければと思います。

委員 人口減少などの問題は全国区であり、似たような市町村が多いと思います。他市のマネをする必要はないですが、どういった対策でどのような効果を上げているのかという情報を収集していかなければと思います。米沢の現状に満足していない人たちの意見をどうやって取り上げて、その意見から満足できる良いまちを目指すことができたらいいと思います。今回実施するアンケートでも、改めて米沢を見直すような設問も入れていただくと、さらに考える機会が増えプラスに働くとと思います。回収率が前回よりも上がるようよろしくお願いします。

委員 学生時代から含めると、米沢に来て40数年になります。大きなまちづくりをするにあたって上からの施策も大事ですが、人口が減少していくということは小さなまちそのものが成立しなくなっていくということなのです。家族から始まり、町内会等といったものが成り立たなくなってしまうことに観点を当てて、市民の立場から意見を出していければいいなと思っています。九州の両親が2年前に米沢に引っ越してきて違和感があると言っているのも、他所から来た者の意見として参考になればと思います。

会長 皆様、課題を感じておられて、それについてどう解決すればよいのかのお考えもお持ちのようですので、心強いメンバーが揃ってくださったなと思っています。まちづくりという話に対して「人財」の話が出てくるのですが、よく言われるのが「他所者と馬鹿者と若者」この三者が必要であると言います。委員がおっしゃったように「他所者」なのかもしれませんが、非常に大切な御意見がいただけるものと思っています。皆様には「馬鹿者」になっていただいているとは思いますが、「若者」の育成も大事かと思っていますので、よろしくお願いします。

5 閉会

以上